

3/16  
朝日

# 原子力政策 勉強不足認める

## 林経産相、参院予算委で



参院予算委で民主・大塚耕平氏の質問に答えられず助言を受ける林幹雄経産相

林幹雄経済産業相が15日の参院予算委員会で、所管する原子力政策に関して勉強不足の自覚があるとの認識を示す場面があった。答弁をめぐり委員会は何度も中断し、林氏は釈明に追われた。

この日の参院予算委で、民主党の大塚耕平氏が使用済み核燃料の処分問題や、

再処理事業を新設する認可法人に移すための再処理等拠出金法案などを取り上げた。質問に対して、林氏は明確に答弁できずに経産省職員らから説明を受けたため、審議はたびたび中断。大塚氏から「重要な問題を担当している立場として、勉強不足の自覚はあるか」とただされると、林氏は「ごさいます」と答えた。

さらに、経産相に就任以来、東京電力福島第一原子力発電所を一度しか訪ねていないことを指摘されると、林氏は「土日も埋まっております、時間が取れなかつた」などと強調。大塚氏は「原子力政策への向き合い

方がいただけない」と、就任以来のすべての日程を提出するよう求めた。

林氏は委員会出席後の記者会見で「通告のない質問が多く、(内容が)専門的なこともあった。それに対して素直に答えられるようにしなくちゃいかんということを含め、謙虚に申し上げた」などと釈明した。